

第39号 奈良LDの親の会『パンジー』

H27年 1月 発行

パンジー通信

連絡先 : E-Mail pansy.nara.ld@gmail.com 担当 小西

「パンジー」はLD及びADHD、アスペルガー症候群、高機能自閉症、軽度知的障害など、発達障害児（者）の親の会です

パンジー通信三十九号 目次

- ・全国LD親の会 近畿ブロック会議 報告 H26/12/72~4
- ・全国LD親の会 近畿ブロック「青年のつどい」報告書.....5~7
- ・パンジーの会講演会「自立のために」
 ~必要な力をつける ぷろぼのの支援から~8~11
- ・パンジーの会全体交流会 2班に分かれての交流会..12~13
- ・運営部 奈良県障害者計画の見直し等にかかる意見交換会14
- ・アド部 就労系行政訪問について15
- ・中高部 奈良県教育委員会訪問.....16~17
- ・土曜会児童部 たのしいクリスマス18~19
- ・パンジー各部活動報告20~21

運営部・小学部・中高部・アド部(高校卒以上)土曜会各部

・お知らせ 特定非営利活動法人 全国LD親の会のご紹介 .22



みなさん、新年明けましておめでとうございます。パンジー代表の入船です。

昨年、11月9日（日）に「ぷろぼのの小島先生」をお呼びして、就労・自立していくために
青少年期に子どもとどう向き合っていくか、の講演を頂きました。

その後の交流会では、各会員の抱えている問題や困難さを共に分かち合う時間を得て、交流を
深めることが出来ました。

今年は、パンジーの会が設立されて、25年の節目の年となります。

これまで支えて頂いた先輩会員の皆様が、積み重ねてきた歴史と経験を次世代に引き継ぐ
ことに加えて、会員の輪が大きく広がる企画をしてみたいと思っています。

近畿ブロック会議報告

日 時:平成26年12月7日(日) 13:00~17:00

場 所:神戸市青少年会館 6F 工作室

当番会:あおぞら(大島・南)

出 席:正会員 トムソーヤ(武田・小林)、たんぽぽ(茶木・大下・畠山)、パンジー(山上・伊井)、
おたふく会(石本・奥脇・津村)、翼(樋口・檜本)、たつの子(小倉・宮本・富岡)

理事(井上)、評議員(入船・吉田)・・・敬称略、出席者 20名

欠 席:ほっふ

【議題】

I. 第18回NPO法人全国LD親の会評議員会報告(資料①)

1. 組織運営に関する審議

①第7回総会報告: 2014年6月14日(土) 事業報告・決算報告・役員選任(案) 満場一致で承認

②会員について:

- ・2014年6月現在会員数: 正会員(46団体(39都道府県) 準会員(個人 1) 賛助会員(団体 2 /個人 1)
- ・2015年度会員名簿更新・構成調査提出手続きについて:事務局対応から各ブロック評議員取りまとめに変更
- ・会費納入の会員数: 3月末日会員数が来年度の会員数となる(3月末以降の変動は反映されない)ので注意)

③2014年度会計について 【決議事項】補正予算案(資料②) 全員一致で補正予算案可決

④第8回総会の日程・会場について: 2015年6月13日(土) ドーンセンター パフォーマンススペース(1F)

⑤クラウド Drop Box について 修正方法確認

⑥年賀状送付先の確認について

2. 事業実施に関する審議

(1)LD等の発達障害に関する研究事業、

①日本財団助成事業(資料③,④,⑤) 【決議事項】2015年度助成金申請 全員一致で申請内容可決
サポートツール全国キャラバンの希望会があれば、早めに評議員へ申請を

②日本財団助成事業「特別支援教育支援員養成事業」(資料⑥,⑦,⑧,⑨,⑩)

【決議事項】2015年度助成金申請 全員一致で可決

講座開催地特別支援教育支援員養成講座:おたふく会(大阪)

ボランティア支援員養成講座:クローバー(札幌)、すばる(北九州)

③一般社団法人日本LD学会第23回大会 1日目3800名、2日目4000名を超える参加

(2)LD等の発達障害に関する理解啓発事業

①会報「かわはし」80号: 2015年1月20日(火)または27日(火)発行予定

②全国LD親の会HP: 各会はブロック評議員に修正内容を連絡すること

③第13回公開フォーラム報告: 2014年6月15日(国立オリンピック記念青少年総合センター)

④第14回公開フォーラムについて:

2015年6月14日(日) 追手門学院大阪城スクエアまたは公益社団法人国民会館大ホール

⑤理解啓発冊子販売事業(収益事業)

(3)LD等の発達障害のある人及び家族等の支援事業

- ①空白県対応 (資料⑪,⑫)
- ②2015 年度研修会 : 2015 年 6 月 13 日(土)ドーンセンターパフォーマンススペース(1F)
- ③2015 年度 青年の交流会について : 2015 年 6 月 13 日(土) ドーンセンター中会議室集合
- ④各ブロックからの報告

(4)LD等の発達障害のある人に対する支援・制度の充実に向けた活動事業

- ①特別支援教育ネットワーク推進委員会
- ②JDDネット関連 (資料⑬,⑭)
 - ・新国立競技場のユニバーサルデザインに関する意見をJDDネットに提出
 - ・障害者総合支援法見直しに関する課題および意見をJDDネットに提出。区分認定等、引き続き各会より報告・意見を。
- ③日本障害者協議会
 - ・JDF郵便制度に関するアンケートをJDに送付
- ④全国特別支援教育推進連盟(資料⑮・⑯)
 - ・放課後デューサービスについての要望・意見を提出。引き続き各会より報告・意見を
- ⑤H28 年度予算要望作成(資料⑰) 各会の意見(資料⑰)を参考に再度とりまとめ、次回評議委員会に提出
- ⑥各会からの要望事項

II. 2014年度近畿ブロック青年つどいの会報告(資料⑱)

10 月 19 日(日)10:00~16:00 担当:パンジー
古都奈良を散策しようー東大寺大仏殿と興福寺阿修羅像
会計より、不足金 5,974 円の補助承認
※ 次年度担当 : たんぽぽ(京都) 時期詳細未定

III. 全国LD親の会 2015年度総会・研修会・公開フォーラム・全国青年交流会について

- 1. 第8回総会 2015 年 6 月 13 日(土) ドーンセンターパフォーマンススペース(1F)
- 2. 研修会 2015 年 6 月 13 日(土) ドーンセンターパフォーマンススペース(1F)
- 3. 全国LD親の会企画(作品展等) : 実施決定 役割分担等詳細は次回ブロック会議で決定する
2015 年 6 月 13 日(土) ドーンセンターパフォーマンススペース(1F)
- 4. 公開フォーラム 2015 年 6 月 14 日(日) 追手門学院 大阪城スクエア(又は公益社団法人国民会館大ホール)
「これからの発達障害支援と合理的配慮～個々のニーズを具体的支援へと結びつけるために～」
講演 竹田契一先生(大阪教育大学名誉教授・大阪医科大学LDセンター顧問)
行政解説 厚生労働省・文部科学省
講演&ワークショップ「障害のある子どもの心理」心理的疑似体験
両川晃子先生(信州大学付属病院、長野県スクールカウンセラー、特別支援教育士SV)
- 5. 全国青年の交流会企画 2015 年 6 月 13 日(土) ドーンセンター中会議室予約済 担当:翼



IV. 2015年度の近畿ブロック体制について

1. 近畿ブロック評議員→らっきょうの花 または あおぞら 会計→トムソーヤ
会議当番→3月おたふく会 7月翼 11月たんぽぽ
2. 空白県対応 愛媛県・香川県・島根県

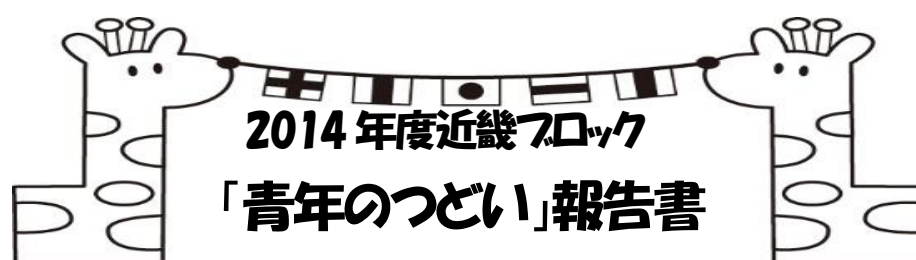
V. その他

1. 各会の活動報告(資料⑱)
2. 次回近畿ブロック会議予定 平成27年3月15日(日) 13:00～ 当番:おたふく会 場所:ドーンセンター

(配布資料)

- 1 特定非営利活動法人全国LD親の会第18回評議員会議事録
- 2 補正予算案
- 3 サポートツール・データベース事業報告
- 4 サポートツール全国キャラバンin高知 ちらし
- 5 サポートツール全国キャラバンin大分 企画案
- 6 特別支援教育支援員養成講座事業報告
- 7 平成26年度ボランティア支援員養成講座in福岡 受講者募集のお知らせ
- 8 平成26年度ボランティア支援員養成講座in福岡 プログラム
- 9 平成26年度ボランティア支援員養成講座in名古屋 受講者募集のお知らせ
- 10 平成26年度ボランティア支援員養成講座in名古屋 プログラム
- 11 東京東部地域親の会設立準備会 教育講演会ちらし
- 12 東京東部地域親の会設立準備会 第1回研修会ちらし
- 13 JDDネット体験博日程
- 14 東洋経済のCSR企業年鑑のデータによる障害者雇用率
- 15 特別支援学校教諭等免許状の保有状況について
- 16 放課後等デイサービスガイドラインの構成(案)
- 17 H28年度予算要望書 近畿ブロックまとめ
- 18 2014年度青年の交流会(パンジー担当) 会計報告およびアンケート
- 19 各会の活動報告





日時 : 2014年10月19日(日)
 場所 : 奈良公園・東大寺・興福寺散策
 参加者 : 16名(おたふく5名、たつの子4名、翼の会2名、パンジー5名)
 スタッフ ・・・5名
 ボランティア ・・・3名
 オブザーバー ・・・1名 (合計 25名)

プログラム

10:00 近鉄奈良駅 東改札口 集合
 10:30 東大寺 大仏殿 拝観・東大寺ミュージアム見学
 11:50 奈良公園・浮御堂散策
 12:20 なら和み館 レストラン「あおがき」昼食
 昼食後に自己紹介・おみやげ購入
 14:00 興福寺 国宝館(阿修羅像) 拝観
 14:40 南円堂・猿沢池・東向き商店街見学
 15:00 近鉄奈良駅 解散

今回はパンジーの会が担当をして実施した青年のつどい。

天候にも恵まれた秋晴れの中、全員集合時間に遅れることなく集合して、スムーズに出発できました。観光シーズンで、バスが大変混雑していたため全員が1台に乗車は難しかったため、参加者の皆さんの了解を経て、大仏殿へは徒歩に変更し、奈良公園・県庁前・依水園と少し裏道を通って大仏殿に向かいました。大仏殿拝観の後、東大寺ミュージアム～南大門～浮御堂～和み館まで徒歩で、奈良公園を散策しながらの移動。少し上り坂もあり、疲れもあったと思いますが、みなさん遅れることなく歩いてくださいました。

食後の自己紹介では、今ハマっていることなども紹介してくれ、同じ趣味の方から質問も出たりして、和やかに交流できました。スタッフとして参加させていただきましたが、頑張っている仕事をされている様子にたくましさを感じました。初めての企画担当だったので、不安もありましたが、無事終えてホッとしています。また、来年度も楽しみにしておられるようでした。

《 参加者の感想 》

■ 参加しようと思ったのはなぜですか？（複数回答）

- | | | |
|----------------------|----------------------|----|
| A 毎年参加しているから | ．．． | 5 |
| B コース（奈良散策）に興味があったから | ．．． | 10 |
| C 交通の便がよかったから | ．．． | 1 |
| D おもしろそうだったから | ．．． | 6 |
| E その他 | （母の紹介・阿修羅像に興味があったから） | |

■ 今回のコースでよかった点や、わかった点があればご記入ください。

よかった点

- ・誘導がとてもわかりやすいです。旗をしっかり用意してもらったり名札の用意など。
- ・全く知らない人と行けた点
- ・新しいお店や裏道がわかって楽しかった
- ・天気もよくて、みんな楽しんで気持ちよく散策できた。
- ・いろんな所を見れて良い運動にもなってよかった。
- ・またいろいろがんばって回ったりしながら大仏さんの見学が楽しかったです。
- ・東大寺など歴史ある建物や大仏を見学する事が出来た事です。
- ・依水園（今年4月13日に星和会茶会をした所）の前も通れたこと
- ・パンジーの会を中心に、たつのこ、おたふく、翼の会の方々を案内して楽しめました

わかった点

- ・バスに乗れなかったのが仕方ないですが、残念でした
- ・土産を買う時間が少なかったなので、もう少し時間に余裕がほしかったです。
- ・列が時々、乱れていた。
- ・少し待たせすぎ
- ・歩く距離が長かったのと、歩く速度が早かったので、歩きすぎて疲れた事です。

■ 今後、青年のつどいで行ってみたいところや、してみたいこと

- ・京都市内観光、古都（金閣寺）めぐりなど、京都水族館（5名）
- ・USJ（2名）
- ・和歌山マリーナシティ、
- ・ボーリングやカラオケ、野球、工場見学
- ・大和西大寺で電車を見たい
- ・今度は兵庫（神戸市以外）や大阪のテーマパークやイベントを観に行きたいです。
- ・自分で行っていないようなところ。交通の便が悪いところはさけてください。
- ・また毎年もこれからもよろしくおねがいいたします。
- ・また色々な所に行ってみたい

■ ご意見

- ・歩きの移動はきつかったから次はバスでおねがいします。
- ・また参加いたします
- ・楽しかったです。
- ・昼食はバイキングの方がいいと思います

※誤字などを修正することなく、ご本人が記入された通りに記載しています。

《 スタッフ・ボランティアの感想 》

- 今回のコースでよかった点や、わかった点があればご記入ください。

よかった点

- ・ 時間通りに集合しスムーズに行程がすすんだ。
- ・ 浮見堂周辺と山の上
- ・ 無理のないスケジュールだと思います。

わかった点

- ・ 徒歩時間が長かった。
- ・ 休憩場所や時間を行程に組み込めばよかった。
- ・ (とくに悪いとは思うほどではないが) 鹿がとても苦手な参加者がいる場合があるので、少々気になった。

- 今後、青年のつどいで行ってみたいところや、してみたいこと

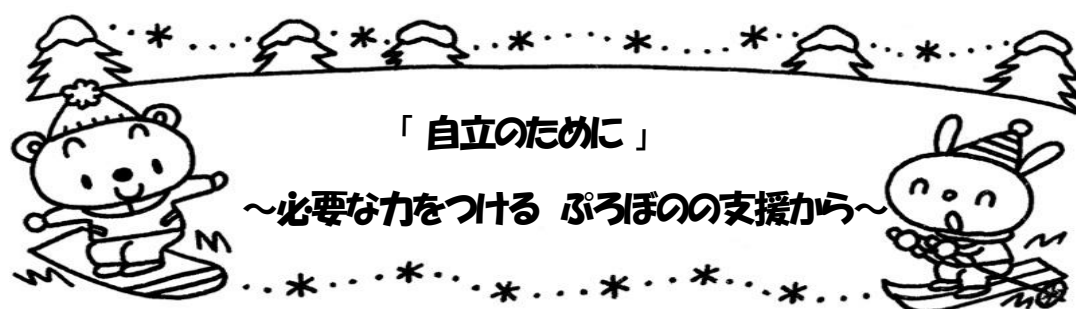
- ・ 雨天でもよいところ。
- ・ 山の辺の道ハイキング

- ご意見

- ・ 行程時間的な所がきついかと心配していたのですが、最終的に早く終了出来て、皆さんのご協力のおかげと思っています。当日キャンセルも一人もなく、皆さんと交流ができて良かったです。
- ・ 少し歩くのに距離がありましたが、普段あまり歩く機会がないと思うのでたまには良いかなと思いました。
- ・ 時間を守って集合してくれ、バスが混み合っていたため徒歩となったが、変更してもスムーズに対応してくれて良かったです。
- ・ 天気も良く長い距離を歩くコースでしたがみんな最後まで歩いてくれ良かったです。
- ・ 作っていただいた旗やうちわが、よい目印となりよかった。
- ・ スタッフとわかる派手目な帽子などあればいいな、と感じた。
- ・ よく協調され理解のあるスタッフが揃っていて出来るのだなあと感じた。また青年たちの様子(言動)にもじかに触れ、わたしの会や地元でも何かいずれは大きい人たちの受け皿を作って行きたいなあという気持ちが湧いています(オブザーバー)



パンジー全体交流会 講演会



11月9日（日）13時より、あすなら苑にて社会福祉法人ぷろぼのの小島秀一さんをお迎えして、講演会を開催いたしました。参加者は20名でした。

はじめに児島さんより自己紹介がありました。その後、発達障害の方々の特性や困難の事例などのお話がありました。発達の偏りについて、とても丁寧にお話ししてくださり、振り返りシートをつかい、自分の行動、自分の視点の偏りを本人が気づいていく、ということの具体例を話してくださったり、日頃からの積み上げが大切であり、勉強面では優秀であっても社会性を身に付けておかないといけなことを話してくださいました。

「言い方のきつい人・上からの発言をする人」は、親御さんの言ってる通りに話をしているとはいえ、親から言われたことに比べたら、自分はかなりやさしく言っている、なぜだめなのか？と本人たちが思っている。誤学習をされているため、なかなか修正できないが、場面ごとに適切な言語を学習（SST）し、正しいことを伝えていくことで身に付けていただいている、とのことでした。職場ではこう言ったほうがいい、こういう場面ではこうしようといったふうに修正していくそうです。

就職されている中には、自分が聞いた内容がずれているために自己流になったり、行動してしまうため、相談、確認をしていくようにしていくと、今度は相談魔、確認魔になっていく傾向があるため、そうならないよう同じ質問はしないようにするという方法を取り入れておられるそうです。

演習では、「子供さんが定期を落としてしまった、あなたならどのように対応されますか？」という質問事項についてひとりひとり考え記入しました。

頑張る、これから注意しなさいね・・・では、繰り返してしまうので関心ごとを認識させ、どうやったら良いのかの対処法を考えさせたり、本人に自分が落としてしまうタイプなのだと認識させ、それでもだめなら環境調整（落とさないように紐をつける、同じところに入れる、入れたことを言葉で言う）をしていくようにしていくことが大切だと話してくださいました。苦手なこと、ミスしやすいことをまずは理解しないと対処方法だけをしてしまうだけではない、ともお話し下さいました。

その後、なら福祉グループぷろぼのの沿革と題して、ぷろぼのの話を詳しくしてくださいました。ぷろぼのは地域社会における共生の実現に向けて、就労、自立生活の支援事業を行っておられること、就職された方々の定着支援も行うようになり、職員も増やし、相談支援機関を充実するようにしていくことに力を入れているそうです。資料の就労移行支援事業所在籍者状

況、就労継続支援A型からなかなか一般企業に移行されない方々が多いこと、またその理由をお話してくださいました。

実際、一般企業に勤めたがあわずに辞めてからA型にこられた方は、パート賃金ほど給料しかもらえなくても、相談をしてもらったり、振り返りができることで安定し、なかなか一般企業にうつられない方が多いそうです。

また、ぷろぼのでは各企業より、洋服の青山や資生堂などから、身だしなみ講習などをしていただいたりもされているそうです。

就職に際しては、配慮事項、どういう配慮が必要なのか、その必要事項が多いほど就職にはつながりにくく、職種によっては少なくなるなど、就職には配慮事項がより少ないほうがよく、障害者手帳、療育手帳の有無や重度軽度は問題ではないとのことでした。

GHぷろぼの（グループホーム）、ぷろぼのスコラ生駒事業所（昨年9月からスタート）の事業内容の説明の後、生きる力をつけていくこと、できることを増やし幅を広げ自信を持たせ、チャレンジできるように、叱る前に正しい行動を伝え、できたらすかさずほめる・認めることの大切さを最後に話してくださいました。

講演後、グループホームに入るには市町村から補助がーか月1万円がでる、手帳が無くても診断があれば、福祉サービス利用でき、一般的なグループホームは一軒の家を何人かで共有し、部屋を各人となっているが、ぷろぼのはアパートに一人一軒となること、ぷろぼのではアパート一軒で4万円で利用できるなど、詳細を話してくださいました。

パンジーの会の会員より、利用の詳細、実際の利用方法などの質問があり、職員の状況などの細かな部分まで、詳細にお答えいただきました。今までのグループホームの概念と違い、一人一軒というのは、最終目標を自立ということで考えていることでは、非常に興味深いという意見もでした。

また、大学1年で辞めてから3年、就労移行支援を受けているが、外にでることで腹痛がでたりして、外にでることに不安があり、どうやって次のステップを踏めばいいのか、具体的に動くにはどう導いていけばいいかという質問があり、地域活動センターというところでは行きたいときに行っていよいよ、という場所もあり、橿原市にあるブリッジで相談され、支援者を通して相談したり、ハローワークに就職相談をされたりして、本人に動いてもらい、本人が困り感を持ち、相談し考えていくことが大切だとお答えをいただきました。失敗体験をしてもすぐにフォローに入り、次に繋げていく。そのことが大切だとのことでした。

就労支援してくれるA型もあれば、目の前の作業に追われて就労支援に結びつかない。また今、現状で安心している本人にどのように就労移行していくのか、タイミングが難しく、親としては不安なのですが、との質問には、相談して実習に出してみてもどうか、本人は環境が変わるのは嫌がるかもしれないが、まずは行ってみるようになってみてはどうかとアドバイスされました。行かせてみる、親御さんが動かないとタイミングはつかめないと思うと話され、本人の課題があるから難しいと言う職員もいるが課題改善は難しく、チャレンジは大事だと思われるとのことでした。

もうひとつ、A型をやめて職業訓練学校にと思うが、奈良はあまり魅力なく大阪、京都とは違うとのことだが、現在はどうか？との質問があり、大阪はシステムが構築されており、大阪市の職業リハビリセンターでは科目により大阪市在住でないといけなところもある、本

人の障害の程度により面接で落ちてしまうこともあるとのことの説明していただきました。

アルバイトで経験を重ね、親子で失敗経験など重ねていくことは大切であること、二次障害を起こすことを防ぐ前に、高校生のうちにA型事業所の実習にでてみるのもよい。とのことでした。

小学生のお子さんがおられる親御さんからは、学力は必要なのかという質問があり、社会勉強という意味で大学にしておくことも良く、障害者求人ということでは、自分の特性を自分で理解し話すことができることが望ましい、また、一般就労ということにおいては学歴は関係ないが、専門性のある仕事ということで考えると学力も必要である、とお答えいただきました。

さまざまな質問に、ひとつひとつ耳を傾けていただき、また、丁寧にお話しいただきました。パンジーの会の会員にとって、大変有意義な講演会でした。またこのような機会を通じて、理解を深めていきたい、そして今後に繋げていければと思います。小島先生、どうもありがとうございました。

《参加者の感想》

- ・小学生なので就労のイメージがわからないのですが、このようなシステムがあるのだということがわかってよかったです。(小学部)

- ・就労はまだ先の話と思っていましたが、そのときに向けて今から生きる力（働くことや自立して生活していくこと）をつけるために日々の生活の中で練習できることは、たくさんあるのではと思いました。為になるお話を聞かせていただきました。

- ・高校生対象の「放課後デイサービス事業」がスタートしたとのことをお話を聞いて、是非近辺にも出来たら良いと思いました。自立するため、社会参加するために早期から自立に向けた養育をと、とても参考になりました。

- ・具体的なお話で、わかりやすかった。メタ認知が弱いところがあるので、身だしなみ指導を受けたいと思った。

- ・とても良かったです。発達の人たちの特性や現状の問題などをうまくリンクさせて話して下さり有意義な時間でした。子供の特性を理解し、適した仕事（事務系・技術系など）も視野に入れて接していくことの中で、得意・不得意の見極めをしていきたいと思いました。

- ・本人の特性を見つけてやることの大切さを考えさせられました。

- ・発達の偏りは一人一人違うということに、改めて納得しました。

- ・本当に目からうろこのお話を聞けて、良かったです。子供のきつい言い方をするのは、私の言葉が…と本当に思いました。子供も変えるのは難しいので、自分から言葉使いを正していこうと思いました。

- ・グループホームのお話やナビゲーションブックの話が聞けてよかったです。

- ・興味深く聞かせていただきました。親が判断して働きかけなければいけない場合と、本人の意志を尊重して働きかけることが必要な場合と見極めが重要だと思いました。いずれにせよ、家族だけでは抱えきれない問題なので、いろいろな相談機関を利用することの大切さを教えて頂きました。

今できることは、社会（家庭の外）で生きていける力をつけていくことかと思いました。

・子供がこれから、どう成長していくかで、親の対応も変わってくるとは思いますが、就職となって、つまずきや問題が起こった時、相談できる場所があることや、あらゆる形で就労支援が受けられるという事がわかり、安心できました。失敗体験をするのではと懸念していましたが、アルバイトさせたり、自分で動かさせたりすることも必要なのだという事も参考になりました。

- ・レジメに添って、事例も組み込まれてのお話をとてもわかりやすく、参考になりました。
- ・取り組まれているグループホームのお話は、興味深く斬新でした。仕事で疲れているなか、共同生活でのストレスやトラブルなど、とても不安でしたが、一軒の住まいでサポートしていただけるのは、問題点・課題もわかり独住まい移住の理想だと思いました。
- ・就労や自立の向けて、自己の特性理解、感情のコントロール・困った時やパニックになった時の回避など、とても難しいと思うので、振り返りシートによるSSTは、是非取り組みたいと思いました。



パンジーの会 全体交流会



11月9日（日）ぷろぼの小島秀一さんの講演会の後、3時すぎから1時間半ほど、8人ずつのA・B2班に分かれ、交流会を行いました。

自己紹介をし、それぞれの子ども特性、現状、今後のことなどを、お茶やお菓子を囲んで話しました。

A班には、アド部3名、中高部1名、小学部4名で小学部のお母さんからは、成長していくにつれ、友だち関係の難しさ、勉強面での理解の難しさ、そして進学にむけての不安などの話があり、アド部・中高部からは、就職にむけて、また自立にむけての話がありました。なかでも、就職しているが、その中での人間関係で難しさがあり、どのようにして解決をしていくか、ハローワークに相談すべきか、また、学校側に相談すべきかなど話しや、ジョブコーチとはどのようなものなのか、など、普段、小学・中高部だけでは話題にならない話もありました。日々、お金をどのように管理し使っていくかを実践していくことや、銀行などの手続きをできるだけさせておくことなど、自立に向けた取り組みを子どものころからしていくことも大切なことだという話もしました。

B班は、アド部3名、中高部1名、小学部3名で話しました。

現在就労しているお子さんがいらっしゃる方からは、3年経てば正社員採用になるかもしれないが、そうでなければ解雇されるかもしれないこと、大学受験を控えた高校三年生のお母さんからは、センター試験にむけ配慮試験を希望したが、発達障害でも人による代読試験は初めてであること、現在作業所（B型）に通われているお子さんの現状、など、さまざまな立場から、話がありました。

発達障害とはそもそも何だろうか・・・そんな気持ちにもなりながら、何事においてもさまざまな経験が必要であり、失敗することも大事である、また、告知の時期、タイミングが難しいが、まずは、苦手な事、自分の特性についてどう対処していくかを話しあうことが大事でだということを再確認しました。そして、ひとつ自信のあるものがあれば、それに助けられる、という話しにもなりました。

それぞれの班で、話しは尽きず、あっという間に予定終了時間がきてしまいました。日々、なかなか話す機会のない各年代の方々とじっくりをお話しをすることができ、皆さん、とても和気あいあいとした雰囲気でした。

《交流会の感想》

- ・色々なアドバイスを聞くことができてよかったです。励まされました。
- ・いろんな人とザックバランに話せて良かった。
- ・様々な年代の人と話せて良かった。
- ・アド部・中高部の方から楽しく貴重の話を聞けて参考になりました。
- ・いろいろとお話を聞かせてもらい、少し肩の力が抜けました。
- ・みなさんの実体験のお話がとても参考になり、それに対して、色々なアドバイス等活発に出て、いい雰囲気だった。
- ・我が家の悩み事に関して、具体的なアドバイスをいただき、心の荷がおりました。同世代の方と話をすることも良いですが、世代間を超えるとより深いお話を伺う事ができ、大変ためになりました。
- ・各家庭で抱えている悩みや問題はいろいろあって、対応や声かけの仕方など体験談を聞くことは、とても興味深く参考になりました。

《今後、全体交流会で聞いてみたいお話やしてほしい内容》

- ・発達障害児者と二次障害の予防
- ・グループホームについて
- ・発達障がい当事者に発達障がいの世界を聞かせて欲しい。
- ・自立させるためには、どのようにしてやれば良いかという話を聞きたい。
- ・進学や就職における体験談など。



パンジー運営部



9月30日、県社会福祉総合センターにて、県障害福祉課による奈良県障害者計画の見直しに関する意見交換会に出席させていただきました。

県障害福祉課より7名、パンジー2名の少し緊張した雰囲気の中、始まりました。

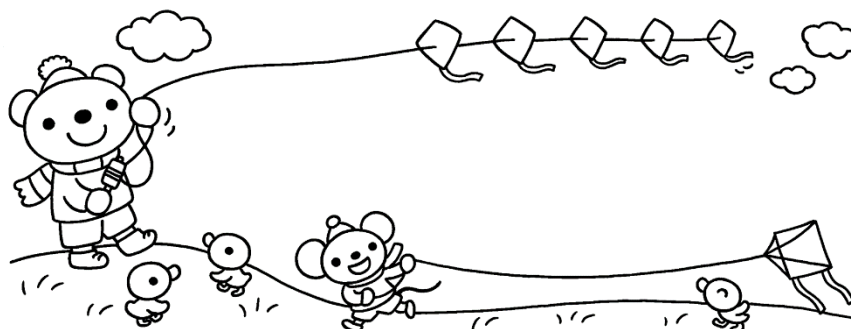
各自己紹介の後、平成25年より障害者団体等、障害児者家族からアンケート調査や意見交換会で募った要望・意見を参考に今後の取り組みへ向けての計画の説明を資料に基づいていただきました。分野別にわけて要望意見⇒主な取り組み⇒数値目標と一目でわかりやすくまとめられた資料だと思いました。このように行政からの取り組みは、私たち障がい者家族にとっては、とても有難く開かれた窓口こそ大きな安心になり、今後の支援の充実に繋がると感じました。

発達障がい児者家族の団体として、就労支援に携わるKさんより障害特性・困難などからの生きづらさなどを伝えていただき、二次障害の困難・兄弟への支援などもお願いされました。また、障害手帳を取得していない方々への支援や雇用促進の具体的な取組、特定子会社などの企業の誘致・行政機関の障害者雇用・例えば閉鎖された県庁食堂を雇用促進に利用するなどの早急な支援を懇願しました。

また、障害福祉課より配布いただいた野球観戦企画では、興味の偏りがちな子供達に貴重な経験となったことや、家族間や異年齢同士により良い親睦になったことなど、お礼を兼ねて報告させていただきました。

このような意見交換の席を設けていただいた県障害福祉課の皆様には感謝申し上げます。

そして、お忙しい中、昨年に続き出席下さったKさん、こころ強いお力添えをいただき、ありがとうございました。



パンジーアド部



「就労系行政」訪問について簡単にご報告させていただきます。

9月29日、アド部4名で就労系の行政機関を訪問しました。一日で4か所という強行プランの上に、担当の方とのアポの都合で、奈良→新大宮→奈良、という移動になってしまいました。

- ① 9時 奈良県庁 健康福祉部 障害福祉課
- ② 11時 労働局（ハローワーク）職業安定部 職業対策課
- ③ 1時半 奈良県庁 雇用労政課
- ④ 4時 中小企業 家同友会

①と②では、労働局と自治体との連携で設立された「障害者はたらく応援団なら」について伺い、障害者雇用に取り組むとして登録されてる企業一覧リストや、障害者雇用を更に促進するため発行されたジャーナルを見せていただきました。

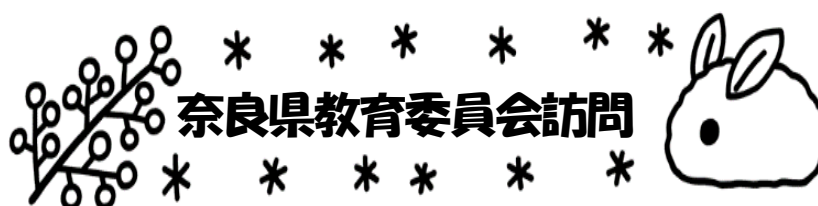
③では職業訓練についての説明、④では親身なお話をしていただき、全体としてこの訪問は、情報をいただくと同時にこちらの存在もアピールする機会だったと思います。

これを始めた当初は、何しに来たの？という雰囲気だったそうですが、今では全くそうではなく、伺ったところそれぞれで丁寧に対応していただき、実際に顔を合わせて話すことの大切さ、続けることの大切さに気づかされました。

こういう活動の道を作ってくださった先輩方に感謝！尊敬！です。



パンジー中高部



11月5日（水）10時から、奈良県庁内、奈良県教育委員会を訪問し、学校教育課特別支援教育係係長の中村美和先生と2時間、さまざまな特別支援教育についての話をしてきました。小学部からは5名、中高部から1名参加しました。

もう一人の担当大谷先生は急な会議が入られたそうで、中村先生とのお話となりました。

中村先生は、奈良教育研究所に10年間在籍され、県立奈良西養護学校教頭も務められ、現在は県教育委員会で、各小中学高校の生徒への講習や先生への研修、勉強会をされています。特別支援に対する経験や知識が豊富で、各学校や教師の抱える問題に対し、丁寧にお話してくださいました。

最初はそれぞれ自己紹介をし、自分の子どもの年齢や学校生活について、また学校での特別支援における問題点や疑問点、率直な感想などを話しました。

原学級保障ばかりを推し進め、音に敏感な子どものための学習室を作ってもらよう働きかけたが、作られても常駐の教員がいなく、ただの休憩室状態になっていること、特別支援担当教師が年度の途中で病氣療養に入り、違う先生となり、こどもが精神的に不安定になってしまったこと、小学校と中学校では支援の仕方が変わり、きめ細かい対応がされなくなること、私立高校と県立高校では手厚さが違うこと、などを私たちから話しました。

その中でも、一番長く話したことは、教師の資質の問題でした。

現在は、当時の採用人数が少なく30代40代の教師が非常に少なく、若手の先生が「先輩」と慕える先生が少ないため、子どもと向き合う姿勢などを学ぶ機会が少なくなっている、また、研修を行っても申込み制であり全員が研修に参加しないこと、また、保護者とのトラブルが原因で病氣療養または退職してしまう教師が増加していることなど、現在の教師を取り巻く問題をお聞きしました。

大切なことは、まず担任が一人ひとりのこどもの気持ちに寄り添い、また保護者の気持ちにも寄り添うこと、そして、苦手な部分を把握し、良さを認め、クラスの子ども達みんなの良さを認めて存在を大切にしていくこと、また、奈良県は特別支援学級配置率は全国でも2番3番であるけれど、決して教師の人数が多さだけでは解決できず、資質向上が大切であることだと話されました。

今現在、教員同士のケース会議を推し進め、教師の資質の向上を図っておられます。また、特別支援学校と各学校の交流人事を行い、3年間の期間を特別支援学校で経験やノウハウを学び、各地域の学校へ戻るという取り組みもされているそうです。

最後に、発達障害の子ども達は、本来、特別支援ということではなく、苦手な部分を把握してもらい、先生やクラスのフォローの中、お互い個性を認め合うことで、「特別な支援」という形がなくなるのが理想である、また、こどもと教師と保護者との信頼関係がなによりも大切であることを話され、こうやって保護者の会で話し合ったり教師と向き合っていくことが、なによりも大切なことだと思うと、話されていました。また、学校にいてるうちにいろんな失敗はすべきだという話もされました。こどものうちに、いろんな失敗をし、それを解決するという事を繰り返すことで経験を積むことはとても大切で、喧嘩をし嫌な思いもし、そして仲直りをする力を身に付けていくことも大事だと話されました。

今回の訪問を通して、学んだことは非常に多く、今後、今までとは違う視点で担任、特別支援の教師の方々を見ることができるようになり、親として、どのように協力し合って、子どもを成長させていくかを考える良い機会となりました。

また、小学部、中高部のそれぞれの親の立場からの疑問や思いを話すことができ、理解しあうことができたように思います。

この訪問のあと、お二人は子どもさんが下校されるため帰られ、残りの4名で斑鳩町にあるインド料理「プジャ」で昼食を取りました。普段はなかなかゆっくり話すことができない中高部、小学部のお母さん同士、和気あいあいと話もはずみました。土曜会青年部の活動や、中学校の定期テストや高校受験での内申点の話し、兄弟関係のややこしさ。話し混んでしまい、気づけばカレーもナンも食べつくしていました(笑)

毎年行っている、奈良県教育委員会訪問ですが、今回も大変有意義で、この会にいるからこそできることであると改めて、この会のありがたさを感じました。



パンジー土曜会児童部



12月13日、県営福祉パークにてクリスマス会を行いました。土曜会児童部会員、親、兄弟姉妹、大庭先生、ボランティア学生など総勢25名が参加し、終始笑顔が絶えず、楽しい時間を過ごしました。

最初は、いつも通りキックベースを行いました。集合する時は、後のクリスマス会の事が気になって落ち着かない様子でしたが、いざ試合が始まると、皆集中してゲームに取り組んでいました。

キックベース終了後、いよいよクリスマス会の開始です。プログラム1番はスプーンリレー。2チームに分かれて2回戦行いました。キックベースの時もそうですが、チーム戦で勝ち負けを強く意識するようになった子供達は、スプーンリレーでも皆真剣な表情で全力で走っていました。

次は、毎年行っているお名前ビンゴ。景品は、皆で持ち寄ったプレゼントです。自分の名前のひらがなが揃った子から、景品を貰うことが出来るので、一文字当たるとに「やったー！」と声を上げる子もいれば、なかなか当たらず落胆の表情を見せる子も…。それでも皆、最後にはプレゼントをゲットして、嬉しそうに抱えていました。

そして次も、毎年恒例サンタさんの登場です！子供達もサンタさんの正体に気付いているようですが(^_^)；握手をしてプレゼントを手渡されたときに、はにかんだ笑顔で受け取る姿がとても微笑ましかったです。最後に皆でサンタさんに大きな声で「ありがとうございました！」とお礼を言ってお別れしました。

最後は、親子でクリスマスリース作り。筒状に丸めた新聞紙を輪っかにして、その上から、アルミホイル、きらきらモールを順に巻き、飾りを付けて完成です。子供達もそろそろ疲れが出るころかなと心配していましたが、分かりやすい工程だったので、どの子も熱心に取り組み、出来上がったリースを見せ合って喜んでいました。



< みんなの声 >

(小6 女児) リース作りが楽しかった。飾りが上手にできた。

(小6 女児母) 毎年楽しい会を開いてもらって、本当に楽しい1日でした。

おやつセットがたくさん入っていて、帰ってからも子供のテンションが上がっていました。

(年長男児) 楽しかった。サンタさんが来たのが一番楽しかったし、(リース) きれいに出来たね。スプーンリレーは勝てて良かった。

(年長男児母) お名前ビンゴは、ユニークでとても盛り上がっていて楽しかったです。リースは作るのも楽しかったですし、お土産になって、来なかったお姉ちゃんも喜びました。プレゼントもたくさん頂けて嬉しかったようです。準備から運営まで本当にありがとうございました。

(小4 男児) ビンゴがめっちゃおもしろかった。欲しい物だったから嬉しい。制作も楽しかった。

(小5 女児) リース作りが楽しかったです。お友達と遊べたのも楽しかったです。

(小5 女児母) リースがとても簡単に可愛く作れて良かったです。娘も楽しそうにしていました。

(小3 女児) 思っていたようなプレゼント(お名前ビンゴ)がもらえて良かった。楽しかった!!

(小3 女児母) 土曜会の恒例行事で子供も楽しみにしていました。

リース作りも可愛い&簡単だったので、下の子の相手をしながら関わることができて助かりました。ありがとうございます。

(小4 男児) ビンゴは楽しかったけど、一番最後に当たってちょっとだけショックだった。

(小4 男児母) 最初から最後まで、子供達が楽しんで参加していたので良かったです。

(小5 男児) スプーンリレーが楽しかった。もう一回したかった。

(小5 男児母) 子供達が普段の活動の時より一層楽しそうで、賑やかに過ごせて良かったです。楽しいクリスマス会でした♪



パンジー各部活動報告 & 今後の予定

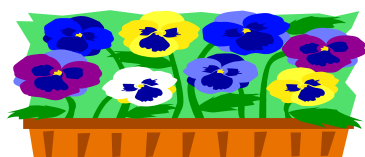
《 運 営 部 》

活 動 報 告

- 9月25日 パンジー通信印刷（はぐくみセンター）
- 9月29日 労働局、県庁福祉課、中小企業家同友会訪問
- 9月30日 県障害福祉課との意見交換会（奈良県庁）
- 10月19日 近畿ブロック 青年つどいの会（奈良散策）
- 10月26日 全国LD親の会 評議委員会（東京）
- 11月 9日 全体交流会（あすなら苑）
- 11月23.24日 日本LD学会第23回大会（大阪）
- 12月 7日 近畿ブロック会議（神戸三ノ宮 青少年会館）

今 後 の 予 定

- 1月21日 パンジー通信印刷（はぐくみセンター）
- 2月 2日 新年会（シャルティエ グランドサンピア奈良：当番 小学部）
- 2月15日 全国LD親の会 評議委員会（東京）
- 3月15日 近畿ブロック会議（大阪ドーンセンター）
- 3月20日 木下大サーカス観覧会：小学部（県招待）
- 4月12日 新旧役員会（あすなら苑）



《 小 学 部 》

活 動 報 告

- 11月5日 県教育委員会訪問
- 11月9日 全体交流会 あすなら苑

今 後 の 予 定

- 2月2日 パンジー新年会
- 3月7日 ボーリング（レクリエーション）

活 動 報 告

- 9月29日 労働局、県庁福祉課、中小企業家同友会など訪問

今 後 の 予 定

- 3月1日（日） アド部会（あすなら苑）

《 中 高 部 》

活 動 報 告

- 11月5日 県教育委員会訪問

今 後 の 予 定

《 ピアカン 》

活 動 報 告

- 10月19日 青年のつどい後（居酒屋 八寶にて）

今 後 の 予 定

- 4月18日（土）ピアカウンセリング
（奈良北部予定）

土曜会各部

児童部

活動報告

10月11日 土曜会活動／福祉センター
11月1日 土曜会活動／福祉センター
12月13日 クリスマス会／県営福祉パーク
1月10日 土曜会活動／県営福祉パーク

今後の予定

2月14日 土曜会活動／県営福祉パーク
3月7日 土曜会活動／県営福祉パーク
4月11日 フリーマーケット／福祉センター
5月9日 土曜会活動／福祉センター

3月は児童部・青年部ともに第1週目になります。

青年部

活動報告

10月11日 土曜会活動／福祉センター
11月1日 土曜会活動／福祉センター（参加者なし）
12月13日 土曜会活動／県営福祉パーク
1月10日 土曜会活動／県営福祉パーク

今後の予定

2月14日 土曜会活動／県営福祉パーク
3月7日 土曜会活動／県営福祉パーク
3月28日 春レク ボーリング・カラオケ（新大宮）
5月9日 土曜会活動／福祉センター

青年部、秋のレクレーションは、大学受験が重なりできませんでした。
春のレクレーションは、児童部6年生の子と一緒にいきます！

成人部

活動報告

10月19日 近畿ブロック「青年のつどい」に5名参加。
11月1日 西大寺 白木屋 10名
パバボラで渡邊さんが参加
宮崎君も九州から帰ってきて参加しました。

今後の予定

今回は、2月14（土）です！4月から大学生になるふたりも初参加！ソフトドリンクで盛り上げります！

パバボラを募集しています!!



特定非営利活動法人 全国LD親の会のご紹介

奈良LD親の会パンジーは、特定非営利活動法人全国LD親の会の一員として、奈良県内のはLD及びADHD、アスペルガー症候群、高機能自閉症、軽度知的障害など、発達障害児（者）の親または本人が、さまざまな活動を行っています。

今回は、簡単に全国LDの会のお知らせをさせていただきたいと思います。

～特定非営利活動法人全国LD親の会とは～

LD(学習障害)など発達障害のある子どもを持つ保護者の会の全国組織です。1990年2月に活動を始め、39都道府県の46団体、約3,200名が参加しています。(2014年6月現在)LDなどの発達障害のある人が、個性的で自立した豊かな社会生活をおくことをめざしています

～おもな活動内容～

LDなどの発達障害に関する教育・福祉・医療・労働などの問題について、関係機関・関係団体と交流・連携しながら、研究・調査、社会的理解の向上、諸制度の創設・改善を働きかけるなどの活動に取り組んでいます。

各地の「親の会」、日本発達障害ネットワーク、日本障害者協議会などへの加盟、文部科学省の特別支援教育ネットワーク推進委員会への参加などを通じ、外部団体との交流・連携を図っています

～ホームページご案内～

全国LD親の会のホームページでは、詳しい活動内容、イベント情報をお知らせしているほか、発達障害児のためのサポートツールや書籍などをご紹介、またインターネット販売も行っています。国語や算数のワークや使いやすいものさしなど、さまざまな教具もごさいますので、ぜひご覧ください！

全国LD親の会ホームページはこちら

<http://www.jpald.net/index.html>